

平成29年度第1回 長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録【要旨】

【開催概要】

開催日時：平成29年9月5日（火）午前10時～12時

開催場所：長野市役所第二庁舎10階 会議室

【次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 環境部長あいさつ
- 4 委員の交代
- 5 副会長選出
- 6 議 事
 - (1) 長野市一般廃棄物処理基本計画（H23～28）の評価について
 - (2) ごみ減量・分別啓発パンフレットについて
 - (3) 新リサイクルプラザの整備状況について
- 7 その他
- 8 閉 会

【会議資料】

- ・資料1 長野市一般廃棄物処理基本計画（H23～28）の評価について
- ・資料2 ごみ減量・分別啓発パンフレットについて
- ・資料3 新リサイクルプラザの整備状況について
- ・平成29年度ごみ処理概要
- ・平成29年度し尿処理概要

【出席委員】 10名

【欠席委員】 5名

【事務局】 13名

【報道・傍聴者】 1名

【会議内容(要旨)】

1 開 会

◇会議の成立と公開について報告（事務局）

2 会長あいさつ

平成29年度第1回審議会の開催に当たり一言ご挨拶申し上げます。本日は、忙しい中、ご出席いただき感謝申し上げます。

本日は、今年度第1回の審議会となり、委員が交代となった方もいるが、現在の任期での審議会は、今回で最後となる。

本日は、平成23から28年度の長野市一般廃棄物処理基本計画の成果について審議する予定。今年度から新たな計画がスタートしているが、その参考になればと思う。

3 環境部長あいさつ

本日は、第1回目の審議会にご出席いただき感謝申し上げます。

前計画が平成28年度で終了したことから、その結果について、分析を踏まえて報告させていただく。また、平成29年度からスタートした新たな計画については、実効性のあるものにしていきたいと考えている。

次に、詳細は議事の中で報告させていただくが、平成28年度の事業系を含めたごみ量は、数値目標を達成することができた。過去に遡ると、平成以降、元年に次いで2番目に少ない結果になった。市民一人一日当たりの家庭ごみ排出量は、昭和50年代半ばの水準となった。さらに、市民一人一日当たりの家庭ごみの可燃ごみは、昭和50年代初期の低い水準となった。市民並びに委員の皆さまには深く感謝を申し上げます。引き続きこの水準を維持していきたい。

次に、6月22日にごみの減量に向けた公開講演会を開催した。渡辺委員には設営進行について御尽力いただき、感謝申し上げます。講師には、食品ロス削減のスペシャリストで全国的にも著名な井出留美氏を招き、100名程の市民にお集まりいただいた。消費期限と賞味期限の違いや、家庭でできる取組みについて幅広くご教授いただいた。私も参加させていただいたが、非常に有意義な講演会であった。

今後も、このような取組みを進めて、市民にごみの減量やごみの分別の必要性を伝えていきたいと思う。本年もお世話になるがよろしくお願い申し上げます。

4 委員の交代

三野副会長に代わり ^{ちよんひよちよん}鄭 暁 静 委員並びに山口委員に代わり森山委員へ委員交代の報告及び委嘱書の交付。新規就任委員のあいさつ。

5 副会長選出

三野副会長退任に伴い、新たな副会長を互選。一般廃棄物処理基本計画策定専門

部会で部会長を務めた、長野県短期大学の土井委員が副会長として適任との発案。全員拍手で賛同。土居副会長就任のあいさつ。

◇事務局職員自己紹介

6 議 事

(1) 長野市一般廃棄物処理基本計画（H23～28）の評価について

◇資料1「長野市一般廃棄物処理基本計画（H23～28）の評価について」により説明（事務局）

<以下、質疑応答>

(委 員) ごみの総排出量については、数値目標を達成した一方、事業系ごみ及び市民一人一日当たりの家庭ごみ排出量は数値目標に達成しなかった。人口についても当初推計したものより上回っているのに、総排出量だけ達成した理由は何か。

(事務局) ごみ総排出量は、家庭ごみ、事業系ごみ、集団回収量に分けられる。家庭ごみ及び事業系ごみは数値目標を達成しなかったが、集団回収量が推計より減少したため、総排出量は数値目標を達成した。

(委 員) 1 ごみ処理基本計画（H23～28）について(2)施策の実施状況の基本方針4中2効率的な廃棄物行政の推進で、ごみ処理コストの算出結果が、平成28年第4回審議会では、平成27年度の市民一人当たりのごみ処理経費が9,084円とあったが、今回は、8,953円となっている。この違いは何か。

(事務局) 基準（分母）としている市民の人口が違うため、このような違いが出た。平成28年度第4回の審議会では、国勢調査に基づいて算出した人口で示している。今回は、平成29年4月1日時点の住民基本台帳の人口で示している。

(委 員) 事業系ごみについて、景気が上向き基調の中で、ごみが増加傾向の中、抑制できたとあるが、原因としては、紙離れによるものか、30・10運動によるものなのか、どのように分析しているか。

(事務局) 30・10運動が確実に市民に定着しつつある。この取組みは、料理を提供する側、利用する側双方あるため、ターゲットをしぼって今後更に運動を徹底していきたい。

(2) ごみ減量・分別啓発パンフレットについて

◇資料2「ごみ減量・分別啓発パンフレットについて」により説明（事務局）

<以下、質疑応答>

（委員） このパンフレットを男女でターゲットを絞り、男女別に配信するようであればいかがかと思う。例えば、30・10運動は男性だけではなく、女性に向けて広く啓発することを考えてほしい。

（事務局） これは男性向け、女性向けのような啓発をするつもりはない。あくまでどのような世代、特性がある方をターゲットにするか、ご理解いただくためのイメージである。実際に啓発する際には、興味を持った方が手に入るような形にする。

（委員） お茶のみサロンなどの出前講座で話してもらえばおもしろいと思う。

（事務局） ご依頼いただければ、職員を派遣させていただく。よろしく願いたい。

（委員） 最初のキャッチコピーを大きくするなどして、読み手が興味を引きやすい仕掛けをもう少し考えるともっといいものになると思う。

（事務局） すぐに興味を示してもらえるような仕掛けづくりをこれからも考えていきたい。

（委員） 長野市の公式ツイッターアカウントのフォロワー数が4,000程度であり、そこで配信しても、発信力が弱いと思う。ごみに関する独自のアカウントを作り、発信しても良いのではないか。分別する際の容リプラの汚れを落とす状況などの画像を添付して発信すれば、若い世代にもごみ問題を発信できると思う。

（事務局） ごみアプリとの連携等を考えていきたい。様々な媒体を使い、普段行政と関わりの薄い世代へ発信していきたい。

（委員） NAGANO検定では、長野県シニア大学の生徒の皆さんに授業をしたことがある。このようなボランティア精神の高い人を配布先としても良いと思う。

（事務局） 意識の高い方々には、作成段階から関わっていただくのも一つの方法だと考える。

(3) 新リサイクルプラザの整備状況について

◇資料3「新リサイクルプラザの整備状況について」により説明（事務局）

<以下、質疑応答>

（委員） この施設の目的は、リサイクル活動の拠点のみならず、排出抑制（リデュース）や再使用（リユース）活動にも資するものであって欲しい。

また、より市民の環境活動が行いやすい、情報発信できる環境学習コーナー等を整備してほしい。

(事務局) もちろんそのつもりである。現在、生涯学習センターで情報提供している環境学習コーナーも新しいリサイクルプラザへ持ってくる予定。多くの環境活動団体が活用できる場として整備していく。

(委員) 施設の愛称についても、検討してほしい。

(事務局) 今の使用している愛称についてもどうするかということも含め検討させていただきたい。

7 その他

○環境部長から、委員へ御礼の挨拶（事務局）

（環境部長）委員の皆さまにおかれましては、真剣に自由に発言いただき、誠に感謝申し上げます。任期は11月までとなっているが、11月まで開催の予定がないことから、本日が最後の審議会となる。現在、手続きを進めているが、各団体から推薦いただいた方には引き続きお願いする方もいらっしゃると思うが、その際にはご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。最後に、本市の環境行政に様々な面からご尽力いただいたことに感謝申し上げます、お礼の挨拶とさせていただきます。

○本日の議事録は、事務局でまとめたものをお送りし、承認後に公開したい。簡単な日時や概要等をまとめた簡易的な開催結果と本日の資料は、別途ホームページで公開させていただく。（事務局）

8 閉会

（12時00分閉会）